

岐阜大学キャリア支援部門 NEWS

<https://www.orphess.gifu-u.ac.jp/career/introduction/news.html>

巻頭言

秋こそ就職活動の準備を進めよう！

高木 結衣

学生支援課就職支援室就職支援係

就職活動は早期化しているのでしょうか？現在のスケジュールは3月情報解禁，6月選考開始ですが，昨年度は3月中に内々定を得たという話も珍しくありませんでした。2021年卒からは通年採用という名目で経団連が就活スケジュールを縛ることはなくなり，政府が主導になることでルールはますます形骸化し，早期化するといわれています。

では，早く就職活動を始めれば早く終われるかというところ，そうでもないところが難しいのです。早めに就活してインターンシップに行ければ半分内定したようなもの！と思い，夏にインターンシップに行った企業数社だけに絞り込んで選考を受けている学生が見受けられます。ただし，絞り込んでいるのは企業も同じです。インターンシップ中にこっそり評価されていることも…。

10月からは業界研究イベントが学内外で多く開催されます。インターンシップの普及により，秋は就職活動をお休みしている学生が増えたのか，秋以降の学内イベント参加人数は減っています。しかし，岐阜大学生だけでゆっくり業界研究できる貴重な機会です。ぜひ参加して，興味のない企業の話も聞いてみましょう。新たな発見があるかもしれません。

また，分からないことがあれば，気軽に就職支援室を利用してください。自己分析や業界研究用の本を借りることができ，企業や行政機関ごとに先輩が書いてくれた面接等の情報を見ることもできます。相談室では専門の相談員と話をすることで，自分がどんな職業に興味があるか，働くうえで何を大切にしたいのかを見つけることができます。

3月になると選考が始まり，なかなか時間が取れなくなるので，ゆとりを持って早めに予約しましょう。

さらに，就活セミナーと称して，エントリーシートの作成講座，グループディスカッション練習，面接対策講座も行っています。これらの情報はメール（Weekly就活），学務情報システム，就活アプリで随時配信していきます。

就職活動中は情報が多く大変ですが，学内外の情報を取捨選択して上手く活用していただきたいと思います。

10月以降の主な就職活動支援スケジュール

〈就職活動支援ガイド〉

- 10月 2日 (水) 後期スタートアップ ※終了後、「就活カフェ」を開催します
- 10月 9日 (水) 自己分析・ES（エントリーシート）
- 10月16日 (水) 適性検査・筆記試験
- 10月23日 (水) 面接・グループディスカッション
- 10月30日 (水) ～11月27日 (水) 業界研究（計4回）
- 12月11日 (水) 岐阜大学OB・OGによる仕事セミナー
- 1月 8日 (水) 業界研究（岐阜県の企業）
- 1月15日 (水) 公務員業務説明会 1
- 1月22日 (水) 公務員業務説明会 2

〈就活セミナー〉

- 12月～ エントリーシート作成講座
- 1月～ グループディスカッション練習
- 2月～ 面接対策講座

〈学生企業展〉

- 3月 5日 (水)・6日 (木)



岐阜大学生専用の就活アプリ



iPhoneの方はコチラ



Androidの方はコチラ



【連絡先】 キャリアセンター内 就職支援室 開室時間：8：45～16：45 場所：大学会館1階キャリアセンター内 電話：058-293-2132・2164

平成30年度学生支援プロジェクト

「のむゼミ」を作ろう

野村 奈々子

医学部看護学科2年

「のむゼミ」と聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。飲み会サークル？それともどこかの研究室？いいえ違います。「のむゼミ」は、ほぼ月に一度のペースでさまざまな社会問題を取り扱うイベントです。社会に目を向ける時間を作りたい、社会人と対話する機会を作りたい、関心を同じくする他分野の仲間と繋がりたい…そんな想いから生まれました。講義やワークショップ、座談会、交流会など、毎回テーマやゲストの方に合わせて雰囲気が変わるのも特徴です。一貫しているのは、参加者をイベントで得た知識をもとに行動を起こせるよう導くこと、そして敷居の低いイベントになることを目標としているところです。

実はのむゼミ、過去に6～7回学内外でイベントを行いました。各学部の掲示板にチラシが貼ってあったり、LINEでお知らせが回ってきたり、「もしかして、あれのこと？」と心当たりがございましたら大変うれしいです。昨年度は、防災・獣害・女性の活躍・国際協力などをテーマとして扱い、累計100人以上の岐大生・他大生・社会人の方々にご参加いただきました。ありがとうございます！「イベント後に話が盛り上がった結果、ご飯に行った」などの話を聞くと、こうやって輪が広がっていくんだなと、やってよかったと思います。

しかしその「のむゼミ」、運営メンバーの一人ひとりがこれまでの「のむゼミ」で得た知見をもとに新たなプロジェクトに取り組むようになり、安定的にイベントを開催するのが厳しくなっています。最大の危機です！！

そのため今後は主に岐大生の中で、こんなことを勉強する機会を作りたい、この分野に興味がある人を集めてこんな話がしたい！などの意見をお持ちの方と一緒にイベントを作りたいと思っています。企画力・運営力・広報力をレンタルしますので、あとは「やりたい！」を持ち込んでください^^のむゼミを乗っ取る勢いで、イベントをやってみたい方からのご連絡お待ちしております。



学生のボランティア活動

ボランティア活動を通して

酒井 佑華

医学部看護学科1年



私は授業を通してフェアトレードのイベントのお手伝い、タケノコ倒し、ブドウ栽培のお手伝いのボランティアに行きました。それまでに私が体験していたボランティアといえば、震災の募金活動や発展途上国の人たちへ送る服の募集だったので、活動場所へ行って体を動かすというのは初めての経験でした。フェアトレードのイベントは、暑い中1日中動き回ったりその場や状況に応じて役割を柔軟に変えなければならず大変でした。また、たくさんの来場者に対応することが難しかったです。タケノコ倒しは、山の管理のために1年に数回やらなければならない、倒すときには足場の悪い山の中で鎌を使うので腰に負担がかかります。高齢者が多い地域ということでボランティアを募っているそうで、私もやってみて本当に大変でした。これを毎年数回、広い面積でやっていることに驚きました。ブドウ栽培については、種を無くして実を大きくするためのジベレリンという液体をブドウに着ける作業や、笠掛け作業をしました。単純作業なのですが、房がたくさんあるので処理をし終わるのにとっても時間がかかり、炎天下の中だったので大変でした。

どれも楽なことではなくて体力的につらかったけれど、やり終えた後には達成感を感じたし、感謝もしていただいて、「役に立てて良かった」「やってよかった」と思いました。

これらのボランティアを通して、普通の生活の中ではできないような経験をたくさんしました。実際に自分で作業をしてみることで大変さや作業をするときの気持ちがわかり、自分の世界が広がったと思います。ボランティアにはさまざまなものがあり、自分の興味のある活動を選んで日程の合う日に行くことができます。ボランティア活動に参加をすることで人の役に立てるし、自分も豊かになれると感じたので、私はこれからの生活の中の空いている時間にボランティアを入れていきたいと思いました。

先輩からの寄稿

学生から社会人になって

塚本 真奈

平成31年3月 地域科学部地域政策学科卒業

新入社員として入社して早4か月。短い期間の中でも、学生と社会人の違いを日々感じながら仕事をしています。その中で私が学生時代に身に付けておくべきだと感じたことを皆さんにお伝えできればと思います。

その前にまず、学生と社会人の違いは何だと思いますか。それは学生は「知っている」ことが求められ、社会人は「出来る」ことが求められることです。これを前提に私が皆さんに学生のうちに身に付けておいていただきたいのは、「常に物事に疑問を持ち、それを調べてみる癖をつけること」「自分の考えを人に伝えられること」の2点です。

1点目に関して、先ほど私は社会人は「出来る」ことが求められるとお伝えしました。何かを「出来る」ようにするためには、まずそれ自体を知らなければなりません。私は証券会社で春から働いていますが、お客様に商品をお勧めするには、今社会がどんな状況なのか、商品はどんなものなのか等を知って理解しなければなりません。しかし、皆さんも想像出来るように、証券の世界にはわからないことが数多くあります。その一つ一つに対して自分で疑問を持ち、調べ、理解していくことが必要となってきます。これは証券業界だけでなく、どのような仕事についても共通するものだと思います。



2点目に関しては、日本の学校教育ではインプットばかりでアウトプットが少ないため、皆さんの中には自分の考えを人に伝えることが苦手だと感じる人が多いのではないのでしょうか。実際に、ある調査では9割の人がプレゼンなどの自分の考えを伝えることが苦手と答えたそうです。しかしながら、社会人になれば常に自分の意見を持ち、それを伝えることが「出来る」ことが求められます。しかし、伝えるということは一朝一夕でできるものではなく、練習の積み重ねが必要です。だからこそ、学生の間の自由な時間を使って、積極的に自分の意見を人に伝える機会を得て、どんどん挑戦してみたいと思います。

皆さんが大学生活を楽しく充実して過ごし、社会人になっても自信をもっていられるよう是非この2点を身に付けていただければと思います。皆さんの今後の活躍を期待しています。

就職活動・社会人を経験して

吉田 健太郎

平成23年3月 大学院工学研究科修了



私は大学院修了後、いわゆる「大手」と言われる自動車関係の会社に就職しました。大手に就職できましたが、全体をみて私の就職活動はうまくいかなかった方だと思います。その理由は、私の就職活動は一般応募は全敗でした。ただ、就職活動をしている中で、たまたま見た自動車部品のメカメカしさに心打たれ、推薦を利用しなんとかその企業に就職できました。

しかし、心打たれた企業も私は5年で辞め、転職をしました。大きな理由は「ワーク・ライフ・バランス」と「自分のしたい働き方の実現」です。

入社間もない時や独身の時は、残業が多くてもそこまで苦にはならず、むしろ残業代が入ってきて嬉しいと感じていました。しかし、結婚をし子供が産まれてから、このような仕事中心の生活を定年まで本当にしたいのかと考えるようになりました。

また、「大手」ほど仕事の内容が細分化されていることで、部分的な仕事となり、自由度が少ないこともあり、総合的に考え転職を決めました。

転職先はいわゆる中小企業ですが、世間ではホワイトで有名な企業です。転職してから4年が経ちますが、残業もなく、仕事も自由にでき、前職のような「大手」ではできないこともできています。また、育児休暇も2か月取得し、仕事・私生活ともに本当に充実していると感じます。

転職後、人事部と一緒に会社説明会に行く機会があります。その際に特に感じるがあります。それは、参加学生があまりに「受け身」だなと感じることです。もちろん「情報収集」という位置づけで参加されている方もいると思います。自分自身の就活を振り返り、同じように「受け身」だったと感じると同時に、自分自身の就活がうまくいかなかったわけだと痛感します。せっきくの機会なので「やりたいこと」だけでなく、「長い人生を見据えた仕事の選び方」を考え、企業説明会やキャリアセンターなどを有効的に活用して頂きたいなと感じます。

平成30年度プロジェクト型インターンシッププログラム

健全者と障がい者の『こどもミニフェスティバル』

加藤 将大

工学部機械工学科 2年

プロジェクト型インターンシップの授業の一環として私たちは、3月16日(日)健全者と障がい者が一緒に参加する「こどもミニフェスティバル」を企画し開催した。小学6年生までの児童を対象とした縁日のようなイベントである。当日はシャボン玉、ボウリングなど計7種のコーナーを開いた。

こうして開催したこどもミニフェスティバルだが、そこまでの苦労は多岐にわたる。まず私たちは障がいを取り巻く現状を知る所から始まった。障がいのイメージを変えるためにいくつかのグループに分かれ障がいについて調べた。イメージを変えるためには自分たちもある程度知識が必要だからである。その後、グループごとに企画を提案して行く中でこどもミニフェスティバルは誕生した。実際に進めて行く過程で多くの問題が発生したのは言うまでもない。例を挙げるときりがないが、最も大変だったのは誰もができるコンテンツを考えることであった。こうした苦労を重ね実施に至った。

いよいよイベント当日を迎えた。実際に多くの懸念があったが、9名の学生とノックス岐阜という企業の協力のもと当日は非常に円滑に進んだ。もしかしたら障がい児は来ないのではないかと思うこともあったが、それは杞憂に終わった。健全児、障がい児の両方とも想定より多く来たのである。それが原因かはわからないが石けんがあちこちに飛んでシャボン玉ブースは一時的に閉鎖した。だが、それ以外のブースでは中断もなく射的ブースに至っては休む間もなかった。障がい児と健全児との交流も少しはあったのではと思う。

このイベントは障がいのイメージを変えるために行われたのだが、それについてはどうだろう。確かに児童にとっては普段あまり目にしないハンデを抱える子供を見て新たな経験ができたかもしれない。だが私たちは同伴する親の教育に影響を与え、今より障がいに対して寛容になってもらおうという方針があった。その点に関してはブースで人数が手一杯になってしまいあまり成果が出なかったと思う。今回のイベントはそういった課題も残った。

最後に、当日手伝っていただいたノックス岐阜関係者様一同、ならびにこの企画を実現するために尽力してくださった白村先生に感謝申し上げます。



キャリアセンター

就職支援室の使い方

全学年
利用できます!

①窓口で話す・相談する(予約不要)

就活が不安だったり、疲れたりした時、些細な質問で「こんなこと聞いていいの」と思える時、どうやって利用したらいいかわからない時、どんな時もスタッフが笑顔で応えます。インターンシップの疑問でもOK!



③本やDVDを借りる・新聞を読む

就職四季報やSPI等の適性検査の本、実施されたガイダンスのDVDを貸し出しています。キャリアセンター内で見えることも可。日経新聞・中日新聞も閲覧できます。



②相談室を予約する (来室か電話。メール不可)

履歴書やESの添削、面接練習、他の人にあまり聞かれない深刻な悩み等は「就職相談室」を予約。混んでいる時もあるので予約はお早めに!

④OB・OG就職先や就職試験情報、求人票を閲覧する

学部・大学院すべてのOB・OG就職先リストを閲覧できます。また、先輩が残してくれた試験情報や、大学に直接届いた求人票があります。

就職支援室 (大学会館 1階キャリアセンター内)
受付・対応時間: 平日 8:45~16:45

TEL: 058-293-2132・2164
E-mail: job@gifu-u.ac.jp

キャリア支援部門ニュース編集委員

委員長・横田 康成
(キャリア支援部門長・(工)教授)

委員・吉田 敏
(キャリア支援部門副部門長・特任教授)

委員・白村 直也
(キャリア支援部門・特任助教)

委員・正村 隆弘
(学生支援課課長補佐・就職支援室長)

委員・五味 進司
(キャリア支援部門事務担当)

●岐阜大学教育推進・学生支援機構キャリア支援部門●

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

キャリア形成支援
TEL 058-293-3393
career@gifu-u.ac.jp

就職支援
TEL 058-293-2147・3362
job@gifu-u.ac.jp

イノベーション創出若手人材養成
TEL 058-293-3492
career@gifu-u.ac.jp